

事業No.	所管部署	事業名	R6事業実施状況 【「提案型制度」⇒○】	R6事業費	事業の目的	事業の概要	職員数 (正職)	所要時間
1	08 秘書広聴課	ドリーム・チャレンジ(えがお☆さばえっ子「夢」を叶えるプロジェクト)		2,000	市内の各小中学校の子どもたちへ「夢」を持つことや挑戦することの大切さを学んでもらうとともに、叶えたい「夢」のプレゼンコンテストを実施し、応援する「夢」の実現に向けた学びや体験の提供を行う。	「夢」を持つことの重要性を学ぶ講演会、叶えたい「夢」を伝えるプレゼン研修会、叶えたい「夢」プレゼンコンテストの3つの企画を運営し、コンテスト後は実現に向けたサポートを行う。	0.1	60
2	11 市民主役推進課	まちづくり基金事業		4,000	市民提案による新たな公益的的事业を創造することで、市民の公共サービスへの参画を進め、参加と協働による市民主役のまちづくりを推進する。	市民団体が自主・自発的に行う、まちづくりに役立つ公益的的事业の実践を促進するため、補助金を交付する。未来創造型まちづくり部門およびチャレンジまちづくり部門の2部門で実施。	0.1	
3	11 市民主役推進課	多文化共生事業	○	140	同じ地域に暮らす隣人として地域住民と在住外国人との間の相互理解を育むことで、誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを目指す。	・在住外国人生活支援通訳者等派遣 ・「やさしい日本語」啓発・普及		40
4	11 市民主役推進課	若者による地域活性化推進事業	○	1,000	・地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動する。 ・市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。	市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進するため、地域の将来を担う若者たちが連携して鯖江の未来像を提案する場を設け、実現に向けて活動できる事業を実施する。	0.1	
5	11 市民主役推進課	市民まちづくり応援団養成講座	○	190	地区におけるまちづくりに意欲のある人のうち、人材の掘り起こしや、持続可能な地域運営の基盤づくり、人と人をつなげるコーディネートに興味のある人材を発掘し、人材育成を図る。	地区のまちづくりに関して、人材育成や組織運営、人の和づくりなどに関する内容の講座「市民まちづくり応援団養成講座」をワークショップ形式で開催する。	0.4	
6	11 市民主役推進課	鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業	○	350	「鯖江市役所JK課プロジェクト」はそのスタート以来、行政が主な事務局を担っていたが、市民団体がプロジェクトをサポートすることで、事業の広がりやJK課と市民同士の連携の強化を図る。	鯖江市役所JK課プロジェクトの基本コンセプトは「自分たちがやりたいことをやる、その結果、大人たちを巻き込んだまちづくりになっていた」。その実現のために、月1回程度の「やりたいことワークショップ」を開催し、年1件以上の新企画具現化をサポートする。		65
7	11 市民主役推進課	サバヌシ総会事業	○	250	幅広い層の市民が「自分も市民の一員(主役)だ」と思ってもらえるような集会「サバヌシ総会」を実施することで、市民主役のまちづくりにおける市民の理解浸透と関係者の拡大を目指す。	「市民主役のまちづくり」の事業や成果を市民がストレートに実感でき、市民自身でも評価するような事業とし、市民主役事業に関する経過報告、テーマ別ワークショップ、市民主役のまちづくりに関する総合的啓発・交流イベントを実施する。	0.1	
8	11 市民主役推進課	交流寺プロジェクト事業	○	300	国際留学生の居場所づくりや1000人以上となった市内外国人の住みやすさ向上	市内のお寺を活用し、学生団体の自由なアイデアのもと、外国人市民と地域住民が多文化共生を感じられる国際交流イベントの開催	0.1	
9	13 ダイバーシティ推進・相談課	男女共同参画啓発事業	○	660	ジェンダー平等の実現を目指し、市民の男女共同参画に関する意識を高揚する。(男女共同参画の啓発)	男女共同参画・女性活躍推進の拠点施設である夢みらい館・さばえを拠点に、市民目線による啓発活動により、市が目指すジェンダー平等と男女共同参画実現に向けた市民への意識啓発と促進を図る。	0.3	
10	13 ダイバーシティ推進・相談課	人権啓発事業	○	350	市民に対し、人権尊重に対する理解を推進する。	市と連携のもと、児童や園児に対して「人権の花運動」や「人権教室」、「小学生人権ポスター展」を開催。街頭啓発や研修会を開催する他、広報紙や啓発物を用いて人権尊重の啓発を行う。	0.15	
11	13 ダイバーシティ推進・相談課	賢い消費生活啓発事業	○	260	食やSDGsに関する情報の収集や知識を習得し、安全・安心で豊かな食品の選択をすることで環境問題や社会問題の解決に貢献できるよう自主的に行動する消費者となることを図る。	消費生活に関する広報や、出前講座等を積極的に実施し、幼児期から高齢期までの生涯にわたり、学校、地域、家庭、職域等の様々な場において、消費者教育を総合的・一体的に推進し、市民に正しい消費生活の知識、情報を提供し、市民の暮らしの安定と向上を目指す。	0.35	

事業No.	所管部署	事業名	R6事業実施状況 【「提案型制度」⇒○】	R6事業費	事業の目的	事業の概要	職員数 (正職)	所要時間
12	13 ダイバーシティ推進・相談課	家事シェアプロモーション事業	○	200	ジェンダー平等で女性が活躍しやすい社会づくりを促進するため、家庭生活の中の見えない家事を見える化し、家族のライフスタイルに合った家事シェアを実現し、誰かに負担が偏ることのない家庭での共家事の実践を推進する。	家族や夫婦が家事・育児の役割について話し合い、男性がもっと積極的に家庭内での役割を担って女性の負担を軽減でき、共に楽しみながら家事・育児を実践するヒントを提供するファミリー向けイベントを開催する。	0.1	
13	13 ダイバーシティ推進・相談課	食の安全安心講座事業	○	315	食やSDGsに関する情報の収集や知識を習得し、安全・安心で豊かな食品の選択をすることで環境問題や社会問題の解決に貢献できるよう自主的に行動する消費者となることを図る。	食の安全・安心に関する講座を開催 講座は、親子対象の講座と座学講座で、参加者が実感・体験できるような参加型の講座	0.05	
14	13 ダイバーシティ推進・相談課	食品関連事業者研修事業	○	150	食品関連事業者を対象に、食品ロス削減に対する知識の普及・啓発を行う。	事業者を対象に、食品ロス削減に関する研修会の実施	0.05	
15	13 ダイバーシティ推進・相談課	食品ロス削減推進事業	○	300	食品ロス削減に対する理解を推進する	消費者・農業者・事業者で協働し、規格外や未利用農産物の利用を図り、食品ロス削減のための具体的な取り組み事例として紹介や啓発する。	0.05	
16	13 ダイバーシティ推進・相談課	ダイバーシティ啓発事業	○	600	市民に対し、ダイバーシティに対する理解を促進する。	市と連携し、研修会の開催や街頭啓発を実施。映画上映会などのイベントを企画・運営する。	0.1	
17	14 防災危機管理課	防災教育事業	○	1,010	子どもから大人まで、広く市民に対して防災出前講座や研修会・講習会を実施するなど、平常時から防災意識の啓発および防災技術の強化に関する教育を行うことにより、市民の防災力を向上させ、地域防災力の向上を図る。	親子で防災を知って備えを考えて楽しんで体験するイベント(1回)、防災力向上のための地域・学校に対する出前講座(17回)・ワークショップ(10回)、自主防災組織を対象にした研修会(1回)・技術取得講習会(1回)を開催し、広く市民を対象とした防災教育を実施する。	0.17	
18	14 防災危機管理課	地域防災力育成セミナー事業	○	160	多様化する被災者のニーズに対し、男女共同参画や多様性配慮の視点を取り入れた防災対策を学び、それぞれの地域で活躍できるリーダーの育成を図る。	4回のセミナーを開催し、専門家による防災講話、防災資機材の使用手法や応急手当・搬送方法、災害時の食や健康について、避難所での男女共同参画やジェンダー平等を考えるボードゲームなどの演習を実施する。	0.05	
19	15 環境政策課	未来をはぐくむ環境問題啓発プロジェクト	○	712	親しみやすい啓発活動により、二酸化炭素排出抑制意識を高める。	市民を対象に講座等を開催して、取り組みを推進するとともに、二酸化炭素排出抑制意識を高める。		50
20	18 長寿福祉課	いきがい講座事業	○	4,692	60歳以上の高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、長寿を喜びあえる社会を醸成する。	月2～4回講座を開催 利用者負担:月額600円+教材費 開催場所、講座内容:令和6年度は市内の7施設で20コース実施		380
21	18 長寿福祉課	「チームオレンジ鯖江」事業	○	310	認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを地域ごとに整備し、「共生」の地域づくりを推進する。	認知症サポーター(支援者)がチームを組んで、認知症の人と家族に対し、早期からの支援が行えるよう、支援者ニーズと支援者をつなぐチームオレンジ鯖江を拡大する。	0.5	
22	18 長寿福祉課	フレイル予防事業	○	210	高齢化が進む中、高齢者の心身機能が低下する「フレイル」の兆候を見逃さず、介護が必要となる前段階で気づき、予防の取り組みを行うことで、元気な高齢者が増えることを目的に実施する。	高齢者が自身の健康状態を把握し自発的な健康づくりを行うよう促すため、フレイル予防サポーター養成、フレイルチェックを実施するとともに、フレイル予防という考え方を普及啓発する。		88

事業No.	所管部署	事業名	R6事業実施状況 【「提案型制度」⇒○】	R6事業費	事業の目的	事業の概要	職員数 (正職)	所要時間
23	18 長寿福祉課	認知症サポーター養成講座	○	349	認知症を正しく理解し、認知症の誤解と偏見を解消し、認知症の人や家族を応援する「認知症サポーター」を増やし、安心して暮らせるまちをみんなでつくっていくことを目指していく。	認知症サポーター養成講座、認知症ステップアップ講座、鯖江市認知症キャラバン・メイト連絡会の企画・開催		48
24	19 こどもまんなか課	子育てサポーター養成講座事業	○	850	地域の中で子育てのサポートを受けられる環境づくりのために、子育て支援を行うことができるボランティア(子育てサポーター)を養成する講習会を開催し、地域の子どもは地域の中で育てていくという機運を醸成する。	仕事や子育てを終えた高齢者やシニア世代を対象に子育てに関する講習会を開催し、受講修了者は子育てマイスターやCOSAPOとして登録し、地域の子育て支援活動先へつなぐ。また、子育て親子の交流や体験ができる遊び場イベント「子育て応援フェスタ」を受講生の実習の場、スキルアップの場として開催する。	0.1	
25	21 健康づくり課	まるごと眼の健康づくり事業(一般対象啓発のみ)	○	160	近年、メディアやパソコン等の急速な普及に伴い、視力低下等心身への影響が懸念されている。視力不良の早期発見、早期治療に努めるとともに、メディアやパソコン等の適正使用や目の体操について子どものみならず市民に広く啓発する。	目の健康に関する啓発活動や鯖江市のオリジナル体操である「めがねのまちな目のけんこう体操」の普及啓発を行う。	0.1	250
26	23 商工観光課	サテライトオフィス誘致事業		600	ワーケーションによる都市部企業と地域の最適なマッチングを行うことで、新たな企業の誘致や関係人口創出、地場産業の魅力向上を目指す。	・企業見学やワークショップなどの観光体験を通じて、本市地場産業の魅力伝えるモニターツアーの実施。 ・モニターツアー参加者自身に、これまでのキャリアを生かした地場産業との関わりを考える機会、地元事業所との意見交換の場を提供することで、継続的關係性の構築を図る。	0.5	
27	27 公園住宅課	西山公園松堂庵呈茶事業	○	190	西山公園嚮陽庭園に整備する茶室「松堂庵」と「松堂亭」で、来園者に様々な流派による呈茶サービスを実施し、茶道の普及に努める。	4月から11月にかけて、有料で呈茶のサービスを実施する。	0.04	
28	27 公園住宅課	西山公園おもてなし事業		190	日本の歴史公園100選である西山公園の歴史や文化を伝えながら来園者におもてなしをしていくとともに、西山公園の魅力を増進する。	西山公園の既存施設を利活用したおもてなし事業を実施し、西山公園の歴史や文化を体験できる機会を来園者に提供する。	0.04	
29	30 学校教育課	クリエイティブ教育都市事業	○	1,826	ICT社会を支えていく子どもたちにプログラミングなどの技術を習得させる。	小学校において、専用パソコンを利用したプログラミング教室を開催するための企画運営を行う。	0.11	
30	30 学校教育課	体育大好き支援事業	○	2,010	児童の体力向上を図る。	専門的な知識を持った講師により、小学校については「体づくり」、「ゲーム」、「表現リズム遊び」、「器械・器具を使つての運動遊び」の指導、中学校についてはダンス指導を行い、運動好き、体育好きの児童生徒を育成する。		10
31	31 生涯学習課	光でつなぐ家族の絆事業	○	880	青少年健全育成のための環境づくりとして、家庭や家族ふれあいの普及啓発活動等を行うことで次代を担うひとづくりを推進する。	「地域や家庭の教育力向上」の推進に向け、親子の絆を深め、鯖江の未来を担う子どもたちの育成事業の実施に取り組むことで、光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)を行う。		80
32	35 スポーツ課	幼児体操ふれあい事業	R6-R8	950	幼稚園・保育園児を対象に、運動の楽しさが体験できる環境づくりを行う。	市内幼稚園・保育園に運動遊びの訪問指導(鉄棒・跳び箱・マット等)を実施する。	0.08	